

「木原不動尊春季大祭」荒行に長い列

2月28日(木)

日本3大不動尊の一つとされる木原不動尊の春季大祭は、天気にも恵まれ、県内外から参拝者で境内は賑わいました。早朝よりお寺に続く参道には、お店が並び、境内には「火渡り」の準備が整い、参拝者はそれぞれに「商売繁盛」「交通安全」「家内安全」などの願いを護摩木に記入。法要に続いて午前9時30分、3本の丸太で支えられた大釜の下に火がおこされ、行者達が寄進された護摩木をたきながら祈祷。火の勢いが収まると角本尚雄住職を先頭に多くの参拝者が素足で手を合わせながら歩きました。



準備整いました



火が焚かれます



青空にも願いを



火の勢いが収まるのを待ちます



しっかりだっこされて

富合の早春

麦の緑が色濃く力強くなりました。梅、桃も満開。ハウスの中でも農作物ががんばってます。



満開 きれいに咲きました



声は聞こえます「ピーチク、ピー」と



ハウスの中はカーネーション